

# 業務部速報

No. 2

発行 15. 6. 24

JR東労組 業務部

## 「ライフサイクル」の深度化に関する覚書と議事録確認を遵守し、 申2号「安全」を最優先とした制度の実施を求める申し入れ

本日、申し入れをおこなう！！

「ライフサイクル」の深度化」制度実施時から、覚書に基づく制度の運用・定着を目指し職場からの議論を積み重ね、現在の第8陣まで多くの組合員が制度を担ってきました。しかし、6月14日～15日で開催された第31回定期大会で、ライフサイクルの深度化について「転換教育中にも関わらず、制度の対象になって転勤対象となっている」「ライフサイクル制度の運用中に支社に転勤が発生している」という覚書を逸脱し、都合の良い解釈を繰り返す会社に対する怒りに充ちた発言が出されました。水戸地本と東京地本は、団体交渉において覚書の遵守を求め議論を積み重ねてきましたが、認識の一致を見ることはできず労働委員会へ「あっせん申請」をおこなう事態にまでなっています。

本部は、制度の趣旨を逸脱する会社の姿勢を改めるために、団体交渉をおこないます。

J R E U  
東 労 組 み と

東日本旅客鉄道労働組合  
水戸地方本部  
発行者：坂本 和男  
編集者：情 宣 部  
No. 118  
2015年 2月20日

東京 FAXニュース No. 260 2015 3.31  
JR東労組東京地本

こんな無責任な経営姿勢は許せない！！

「ライフサイクル」の深度化制度に関する覚書を遵守し、社員運用の是正を求める緊急申し入れ 緊急団体交渉！！

J R 東 労 組  
いわき運輸区分会情報  
平 安 人

これを経営責任と言わず・・・何と言う！

技能講習中止まで、  
実に **34本** の機関車を手配！

EL転換に費やした教育時間  
計**365時間12分**の無駄

これだけやってきたことが無駄に！！

鉄道輸送事業の生命線である「安全」を守り、「業務労働の特殊性」を  
全組合員と議論し、安心して働ける職場風土をつくりあげよう！！

会社回答

「ライフサイクル」の深度化については、覚書等を踏まえ進めてきているところである。また、「ライフサイクル」の深度化により  
駅輸送業務等に従事している社員については、駅で原則として3年  
間勤務した後に、運転士として業務員区所に復帰するケースと、駅  
等に配置するケースを基本として設定している。

なお、異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

会社は「ライフサイクル」の深度化制度運用中の組合員に対しての異動について  
ライフサイクルの  
深度化については、**覚書等を踏まえ進めている**  
異動については、**就業規則に則り取り扱うこととなる**

と主張しているが、これは労使で議論を重ねて「覚書」「議事録確認」を踏まえてきた「制度」である、  
にもかかわらず、今回の異動は「通常の異動」と主張することは、会社自ら制度を否定・破綻するものだ！

つまり、東京支社の認識はこれだ！

~~覚書~~ ~~議事録確認~~ < **就業規則**

東京地本は、労使で合意した施策を責任をもって進めるために、職場から議論を積み重ねてきました。  
しかし、東京支社の「覚書」「議事録確認」を一方向的に覆るような無責任な姿勢は、集団的労使関係を害する行為です！

したがって東京地本は、東京支社に対し「労使間の取扱いに関する協約第69条」に基づき  
東京都労働委員会へ「あっせん」の申請を行うことを通告！

これでは安心して「ライフサイクル」の深度化制度は担えない！  
「議事録確認」を遵守させるために  
職場からたたかいをつくり上げよう！

覚書と議事録確認を遵守し、  
安心できる制度を創り出そう！

【要求項目】  
2008年3月に締結した「『ライフサイクル』の深度化に関する覚書」を遵守し、「鉄道運行部門全体の安全レベル向上」という制度の目的を実現すること。また、東京支社管内でおこなわれた「ライフサイクル深度化制度運用途中における支社営業部への異動」及び、水戸支社管内でおこなわれた「EL 転換教育を中止してまでおこなった駅への異動」に対する見解を示すこと。